



献血協力者に記念品などを手渡す古川さん(右から2人目)ら

献血ボランティア活動 猪苗代高校

猪苗代高校の生徒8人は12月22日、「全国学生クリスマス献血キャンペーン」の一環として、町役場で行われた献血でボランティア活動に取り組みました。生徒たちは、来庁者に献血の協力を呼びかけたり、献血をした人に記念品などを手渡したりしました。2年生の古川芹菜さんは「献血のボランティアは今回が初めてでしたが、献血をしてくれる人が多くて驚きました。今度は自分も献血してみようと思います」と話しました。

さとうきび親善大使が来町 吾妻小学校

「さとうきび親善大使」を務める沖縄県うるま市彩橋小学校6年生の金城知憲さんと伊波美希さんは1月27日、吾妻小学校を訪れ、クロスカントリースキーや雪合戦などを通して交流を図りました。両校児童は、両校の特色や文化を紹介し、親睦を深めました。伊波さんは「吾妻小学校の児童の皆さんは優しくて、楽しかったです。沖縄県のほとんどの子どもたちは雪を見たことがないので、帰ったら雪の感触を教えたいです」と話しました。



雪合戦を楽しむ伊波さん(右)と金城さん(中央)



メッセージを入れた宝箱に鍵を掛ける児童

12年後の自分へ手紙 小学校6年生

第10回えとタイムカプセル埋設式は12月20日、猪苗代ハーブ園で行われ、町内の小学校6年生の児童131人が参加しました。式では、猪苗代小学校の一ノ瀬大和さんが「将来の夢は絵を描く仕事に就くこと」、西山かやのさんは「公務員になるため勉強を頑張る」とメッセージを読み上げました。各校代表の児童は、12年後の自分に宛てた手紙などが入った宝箱に鍵を掛け、その鍵を入れたカプセルを同園内に埋設しました。

学校内外に学習成果を発表 猪苗代高校

猪苗代高校観光ビジネス科・国際観光科の学習発表会は12月13日、同校で行われました。各学年の生徒代表が授業や実習を通して考察したことをパワーポイントを使用して発表。「インバウンドを誘致するための旅行プラン」や「米を活用した商品開発」など、さまざまな考察結果を紹介しました。企業実習で生徒を受け入れた静楓亭の荒井加代子さんは「企画内容に肉付けすれば、実際の観光誘客に活用できます」と講評を述べました。



授業や実習で考察したことを発表する生徒たち



左から琉翔くん、杏恋ちゃん、琉星くん

琉翔くんの名前には、「誰にでも優しくできる人になってほしい」。そんなパパとママの願いが込められています。

新明 琉翔くん

平成27年1月生まれ
～道下
一弥さん・愛さんご夫妻の長男

好きな食べ物はお飯とみそ汁という琉翔くん。なんと夕飯では味噌汁を3杯も飲むんだとか。「パパとური二つでみんなに『パパに似てるね』と言われることが多いんです」とママの愛さん。1歳年上のお姉さんの杏恋ちゃんは、ブロックでライオンやうさぎを作って一緒に遊んでくれます。最近では、生後3カ月の弟、琉星くんの世話をすることがマイブームという琉翔くん。弟の手を優しく握ったり、一緒に寝転がったりしているそうです。「朝、琉翔の姿が見えないと思ったら、琉星の布団に入って一緒に寝ていたんです」と愛さんは笑顔で話します。パパの一弥さんは「猪苗代町は自然が豊かなので、子どもたちが大きくなったら、四季折々の遊びをしたいですね」と話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111



「雪の量の多さにびっくりしました」と感想を話す坂小5年生の梅澤昊永さん(左)と星谷奎斗さん(右)



雪遊びを通じて友情を深める両校の児童たち。雪だるまのパーツを組み合わせて学校名を書いた

静岡県三島市坂小と翁島小が交流

静岡県三島市立坂小学校の4、5年生24人は1月26、27日の両日、本町を訪れ、翁島小学校4、5年生19人とスキーなどを通じて交流を深めました。本町と同市は、東日本大震災以降、物産展や観光PR活動を通じて交流を続けており、両校の児童による交流は今回で3回目になります。26日は、国立磐梯青少年自然の家でスキー体験をした後、パワーポイントを利用して各校の取り組みなどを紹介。両校児童が宿泊し、共に時間を過ごしました。27日は、野口英世記念館を見学した後、翁島小の校庭で雪遊びを通じて友情を深めました。翁島小5年生の佐賀わかさんは「お互いに自己紹介をしてすぐに仲良くなりました。雪のことや猪苗代町のことを話すことができました」と声を弾ませました。来年度には、翁島小の児童が三島市を訪れ、坂小の児童と交流を深める予定です。